

「地域はみんなで作っていきましょう」

鹿島台まちづくり協議会



目次

- 光のファンタジーでここに安らぎを-1ページ
- 会長あいさつ.....2ページ
- 地域で輝く人.....2ページ
- 各委員会紹介.....2～3ページ
- シンポジウム.....4ページ
- まちづくり協議会の各種委員を募集しています!!.....4ページ
- 編集後記.....4ページ



お願いいたします。

新しい年末の恒例行事「光のファンタジー」を今後ともよろしく

イルミネーションが広がっており、幅広い年齢の方から好評をいただいております。

鹿島台駅を一步出るときれいな

イルミネーションを取り入れ、昨年よりバージョンアップして実施しました。

令和三年も「海」をテーマに新し

いイルミネーションを取り入れ、昨年よりバージョンアップして実施しております。

「光のファンタジー」は、地域住民に「心の安らぎ」を提供し、心豊かに暮らせる地域社会の形成を目指しております。

鹿島台駅前通り公園で令和二年十二月よりイルミネーション事業「光のファンタジー」を実施しております。

「光のファンタジーでここに安らぎを」

「鹿島台地域の 更なる活性化に向けて」



鹿島台まちづくり協議会
会長 高橋 亨

新年おめでとうございます。
鹿島台まちづくり協議会も十六年目を迎えました。このことは地域の皆様のご支援、ご協力によるものと感謝申し上げます。

これまで、鹿島台の発展と活性化に向けて、五つの委員会は活動を行ってまいりましたが、この二年間はコロナ禍の影響で、各種事業も進みませんでした。

特に、モーニングマーケット、ピアガーデン等、数多くの事業が断念を余儀なくされましたが、そのような中でも、鹿島台駅前通り公園の「光のファントジー」は期間を拡大し、皆様から好評を博しました。

また、「鹿島台地域みんなのカレンダー」「ご長寿者名簿」「まち協だより」は従来どおりお届けすることができました。

今年、大崎市に長らく要望しておりました、駅東口から二線提バイパスまでの道路の開通工事が行われる予定で、駅東地域の更なる発展につながると思います。

鹿島台を元気にするまちづくりは、地域の皆様と話し合いを重ね、一緒に行動していくことが大切だと思います。今後とも皆様と「住みつづきたい鹿島台」「いつか住んでみたい鹿島台」を目指してまいります。

コロナ禍が収束と皆様のご健康、ご多幸をお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。

地域で輝く人

誠におめでとうございます

鎌田翁賞

三浦 一雄 様



三浦一雄様は、平成六年からご自分で繁殖された鈴虫を小学校、敬風園、公民館等へ寄贈され、多くの方々が夏の夜の風物詩として、鳴き声を楽しませていただきました。

また、NPO法人「シナイモツゴ郷の会」の会員としても活躍され、生命の大切さと希少生物の保存に大きく貢献されました。(三浦様は令和三年十月十九日にご逝去されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。)

鎌田翁賞

二宮 景喜 様



二宮景喜様は、大崎市の天然記念物であるシナイモツゴ(絶滅危惧種)を地域の宝として保護・繁殖し、豊かな自然の継承と特色あるまちづくりに貢献されました。

特に、平成二十二年度から十年間、NPO法人「シナイモツゴ郷の会」の理事長として各種団体や地域と連携を深め、ブラックバス等の駆除活動を実施し環境保全に努めました。

また、鹿島台小学校等で学習会や飼育の指導を通して保護と環境教育にご尽力されました。

のびのび生涯学習委員会

私たちの委員会は、①人と人との輪(わ)、②歴史と文化の話(わ)、地域と情報の環(わ)という考えを基本として、活動しています。

①については、鹿島台第一幼稚園・上平渡地区民とマリーゴールドを通し、種まきから花を染料とした染付けを行い、世代間交流をしています。

②については、「三之助翁のふるさとすごろく」と「かるた」「紙芝居」とともに、翁の足跡を語り、精神の継承を伝えていきます。

これからもふるさと鹿島台を理解し、更に愛されるまちづくりに取り組んでいきます。



健やか安心委員会

当委員会は、日常生活の様々な困りごとに対し、公共機関や民間施設の持つサービスメニューを紹介し、もってその解決の一助になればと「鹿島台地域の高齢者生活支援ガイドブック」を作成しました。

昨年は、ゴミ出しや電球の取り換えなど、身近な困りごとを、地域の助け合いという力でお手伝いできないか、それを議論した一年でした。今年はその成果をぜひとも実現したいと考えています。

二年目となる光のファランジーですが、今回は公園の一角を「海物語」で演出しました。次回もぜひご期待ください。



活力ある産業委員会

当委員会では、以前から鹿島台の特産品デリシャストマトを使った発泡酒の醸造を企画しています。

当初このお酒はイベントでの販売を中心に考えていました。しかし、昨今のコロナ禍でイベントは全て中止となったため販売機会が激減し、この問題に頭を悩ませていました。

そこで「イベント以外でも販売しよう！」と考え、味を更に美味しくし、パッケージをおしゃれで目立つように一新。名称も「シユワットデリシャス」と親しみやすく変更して新たなスタートを切りました。

現在は武藤酒店とスーパーエントーにご協力いただき、店頭でもお求めいただけるようになっていきます。



コミュニティ活動委員会

当委員会では、住み良い地域づくりのため、地域の環境問題の改善に取り組んでいます。

毎年実施している「ごみ・ゼロ一斉大作戦」を公衆衛生組合や行政区長会、市と連携して、地域内の清掃状況の改善に努めました。

現在、この問題は世界でも非常に関心を持たれている問題のひとつです。今後もこの問題改善に取り組んでいきますので、皆さんも環境について考えてみてはいかがでしょうか。



安全で快適委員会

コロナ禍の中、諸事業等は中止や一部のみしか実施できませんでしたが、新たな「水害に強いまちづくりプロジェクト」がスタートしています。

流域治水「あらゆる関係者が協働・連携による対策」を推進し、みずから守るための知恵を出し合っていきましょう。

また、交通量の多い二線提バイパスの安全のため、ごみ拾いを行いました。

皆さんも、事故防止の観点から危険に感じられている箇所等がありましたらご一報ください。安全安全な地域づくりに対処したいと考えています。



吉田川流域治水シンポジウム

2021年11月28日(日)

鎌田記念ホール(多目的ホール)



講演する小池俊雄氏

吉田川流域を水害から守り、地域を発展させていくために必要な流域治水について、住民や専門家が議論する吉田川流域治水シンポジウムが開催されました。

国立研究開発法人土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター小池俊雄センター長の基調講演後、東北大学田中仁教授、同大学佐藤翔輔准教授、鶴田川沿岸土地改良区千葉榮理事長、鹿島台志田谷地在住の三浦たつ子氏を交え「流域治水で地域が発展していくために」というテーマでパネルディスカッションを行いました。

先生方の深い科学知識に基づく分析や千葉理事長及び三浦氏の地元鹿島台に根差した方ならではの経験や意見をお話いただきました。

今後も地域一体となって防災に対して学び、備えていきましょう。



まちづくり協議会の各種委員を募集しています!!

鹿島台まちづくり協議会委員…まちづくり協議会を構成する5つの委員会に所属し活動を行います。

各委員会の活動例：環境、教育、福祉、産業、防災 など

鹿島台駅前モーニングマーケット実行委員会…まちづくり協議会が鹿島台駅前毎年実施している朝市の企画や運営のスタッフとして活動します。

地域計画策定委員会…鹿島台まちづくり協議会は現在、新しい実施計画の作成を企画しています。計画を決める際に皆様からの多様な意見を募集しています。地域計画策定委員会でまちの活性化について一緒に考えていただける方を募集しています。

ご協力いただける方は下記の問い合わせ先までご連絡ください。



編集委員

佐中伊川鹿大日高 佐
々々 幡藤越野町野橋 藤
恵信里壽祐順 政
美子子子一孝智亨重

皆様にとって明るい一年となりますよう、編集委員一同心よりお祈り申し上げます。(編集委員長 佐藤政重)

明けましておめでとございます。激動の二〇二一年を振り返って見ますと、長期化する新型コロナウイルス禍の中で、私たちは多くのものを失いましたが、ウィズコロナだからこそ得られたものも決して少なくなかったのではないのでしょうか。医療関係者のありがたさや家族の協力の重要性・人と人との繋がりの大切さ等を改めて考えられる機会にもなりました。新型コロナウイルスの脅威は当面続くことが予想されます。二〇二二年が豊かで希望に溢れたものとなりますように、新しい生活様式や価値観を入れながら、この苦境を乗り越えていきたいと思います。

編集後記

鹿島台地域の人口	
12月1日現在	
世帯数	4,566戸
男	5,447人
女	5,803人
計	11,250人